

**第4回「川に学ぶ」体験活動全国大会  
in 日野川流域**

**活動報告書**

**平成17年3月**

**主催／第4回「川に学ぶ」体験活動全国大会  
in 日野川流域実行委員会**

**共催／日野川流域交流会、川に学ぶ体験活動協議会**

## 開催のとりくみ

---

全国各地の川で活動するNPO法人や市民団体など123団体によって構成される、「川に学ぶ体験活動協議会(RAC)」の全国大会を福井県の日野川流域で開催しました。

川に学ぶ体験活動の理念は、

- ◆感動する心を大切に、川と遊び学ぶ楽しさを伝えます。
- ◆川への理解を深め、川を大切にする気持ちを育てます。
- ◆ゆたかな人間性、心のかよった人と人のつながりを創ります。
- ◆人と川が共存する文化・社会を創造します。
- ◆川の力、活動にともなう危険性を理解し、安全へ意識を高めます。

であり、活動を通して人間性の回復や水環境の保全についての認識を広げることを目的としています。

全国大会は、平成13年度より毎年開催され、川に関わる活動団体の交流、情報交換、新たな体験活動の発見などの活動発表が活発に行われたことで、川に学ぶ体験活動の意義を改めて確認してきました。

前身の大会である「川に学ぶシンポジウム」では「官主導型」で運営されてきましたが、平成13年からは「民間主導型」となり、本大会では更なる発展を目指した「流域主導型」を試みました。

「流域主導型」とは、日野川流域で様々な特性や個性を持って活動する団体である『川の駅』の独自性を活かした企画運営です。

各『川の駅』が主体性を持って開催することで、地域や流域の特性を活かした活動を、有りのまま公開することができました。そこへ全国の活動団体が訪問参加交流し、共に現状を知り、課題を共有し、普遍的方向性を見つけだしていく全国大会は、真に「川に学ぶ」社会の実現のために効果的でありました。

### かわど 大会テーマ「川人の共感」



オープンハウスでの打合せ状況

# 全国大会プロジェクトのプログラム

---

～全国大会プロジェクトは次のプログラムで構成された～

## 1. 会議と積極的活動

---

- 1. 1 実行委員会立ち上げについての会
- 1. 2 全国大会実行委員会立ち上げイベント
- 1. 3 「子どもの水辺」登録申請

## 2. プレイベント

---

- 2. 1 『福井県川の初級指導者養成講座(第1期)』の開催
- 2. 2 『川と人とのいい関係-サクラマスの駅伝-in日野川2004フォーラム』の開催

## 3. メーンイベント

---

(1日目)

- 3. 1 『川の駅』体験フィールド分科会(4分科会)
  - 3. 1. 1 A分科会 『治左川とトミヨを守る会』
  - 3. 1. 2 B分科会 『田倉川と暮らしの会』
  - 3. 1. 3 C分科会 『ひまわり探偵団&スマイル探偵団』
  - 3. 1. 4 D分科会 『日野川流域交流会推進委員会』
- 3. 2 交流会『川人の夜祭り』

(2日目)

- 3. 3 全体会『川人のチャレンジ』
  - 3. 3. 1 ポスターセッション
  - 3. 3. 2 パネルディスカッション『川人の共感』
- 3. 4 参加者からの声

## 1. 会議と積極的活動

### 1.1 実行委員会立ち上げについての会

■ 2004年2月7日 武生商工会議所 / 川の駅代表者 28名参加

【来賓】 斎藤 隆氏(RAC事務局長)、吉野英夫氏((財)河川環境管理財団)

1. 吉野英夫氏から川に学ぶ体験活動理念や意義および啓蒙活動について講義を受ける。
2. 斎藤隆氏から、RAC全国大会のこれまでの経緯と今回の課題の意向を聞いた。
3. 田中保士(推進委員長)は、全国大会開催方針の草案を下記のように提案した。

#### ① 目標のたたき台

日野川流域交流会の各「川の駅」活動団体が、主体的に取り組んでいる「川に学ぶ体験活動」に、全国のRAC構成団体が参加し共に体験する。この友好的交流体験から、課題を掘り起こし、共有化をはかり、「川に学ぶ社会」の実現をめざす方向性を見つけてほしい。また、開催年度期間は、「川に学ぶ社会」の更なる普及啓発、「川の指導者育成制度」の普及と実践、および「子どもの水辺サポートセンター」の紹介を重点活動目標とする。

開催テーマは、日野川流域交流会の活動テーマである「人と川とのいい関係」と「サクラマスの駅伝」を基本としたい。

すなわち、サクラマスの駅伝は、

1. 魅力ある川づくりの参画です。
2. 川の正しい知識と情報の共有です。
3. 川に学ぶ機会をつくります。
4. 連携交流の持続的な活動です。

以上の提案説明をたたき台として今後具体的に協議していくことを合意した。

#### ② 開催日程は下記の通り決定した。

2004年8月21日(土)～22日(日)

第1日目 10:00～16:00

川の駅分科会 4箇所

18:00～21:00

交流会「川人(かわど)の青春」

第2日目 9:00～12:00

全体会

#### ③ 会場は、流域の上流～下流域および行政区分も配慮する。

全体会、交流会など主会場はリトリートくら。なお、川の駅分科会は、担当川の駅が主体性を持って運営する。

#### ④ 「川の駅」分科会で発表(受け入れ)する活動団体を募集する。

川活動の熱き思いを、全国の人たちに体験してもらおう4箇所の分科会「川の駅」を募集する。

応募した「川の駅」は、次の実行委員会に10分間のプレゼンテーションをしてもらい、その中から選抜する。なお、近隣の「川の駅」が複数連携して応募しても構わない。

プレゼンテーションの方法は自由とする。

#### ⑤ 実行委員会の構成

実行委員会は、日野川流域交流会とRACのパートナーシップを形成して企画運営活動することを申し合わせた。

## 1. 会議と積極的活動

### 1.2 全国大会実行委員会立ち上げイベント

#### ■ 2004年4月8日 武生商工会議所 / 午後6時～8時

日野川流域交流会では流域の各行政機関や関連団体とのパートナーシップが形成されている。

当日100名の関係者および大野重男RAC代表理事および(財)河川環境管理財団関係者をお招きし、全国大会開催へ向けて実行委員会を立ち上げ、スタートを切った。

#### ■ 実行委員会役員と世話役

実行委員長／廣部英一

副実行委員長／大野重男(RAC代表理事)、

渡邊光一、長谷川巖

企画部／田中謙次、筏洋介、木下和彦

運営部／上木正行、谷口金次郎

各分科会川の駅と世話役

A分科会『治左川とトミヨを守る会』石本義勝

B分科会『田倉川と暮らしの会』伊藤喜右エ門

C分科会『ひまわり探偵団&スマイル探偵団』

石川君代、中沢順子

D分科会『日野川流域交流会推進委員会』

谷口義幸

事務局／齋藤隆氏(RAC事務局長)

事務局／田中保士、品川勉、上木善憲

#### ■ 実行委員会委員

##### ○ 専門家グループ(敬称略)

上木泰男、奥野宏、加藤文男、木村俊二郎、

権八實、斎藤寛昭、澤田豊明、田中謙次、

田安正茂、中林喜悦、前田博司

##### ○ 企業グループ

株式会社ミルコン、清水印刷、JR西日本武生

駅、株式会社木津組、津田組、株式会社関組、

株式会社ウエキグミ、上木建設株式会社、北日

本建設株式会社、木原建設株式会社、小泉建

設株式会社、株式会社ササキ工業、大和建设

株式会社、田中建設株式会社、谷口建設株式

会社、中日本土木株式会社、北信建設株式会

社、株式会社山本組、坂川建設株式会社、株

式会社野崎工務店、有限会社八王商会、株式

会社田中地質コンサルタント

##### ○ 団体グループ

RAC、南条エコリバークラブ、水辺の自然体験

活動推進事業実行委員会、子どもの水辺サポ

ートセンター、NPO法人ドラゴンリバー交流会、

NPO法人エコプラザさばえ、武生商工会議所、

丹南広域組合事務局、環境文化研究所

##### ○ 川の駅グループ

武生東母親クラブ、あさひ泰澄塾、あたご山自

然学校、安養寺森づくりキャンプ村、池田を遊ぶ

会、岩谷源流、王子保小学校「プロジェクトX」、

大虫川の環境を守ろう会、御清水川を愛する会、

鏡学板取宿、河和田自然に親しむ会、鞍谷川

ワークショップ、米匠倶楽部毘沙門、坂口エコ

メイト、里山の森林づくり推進事業、三郷物語、

治左川とトミヨを守る会、スマイル探偵団、製紙

排水対策研究会、柚山城跡に学ぶ会、田倉川

と暮らしの会、武生市明るい社会づくり推進協議

会、武生市明るい町づくり協議会連合会、武生

青年会議所、武生ライオンズクラブ、武生ロータ

リークラブ、丹南地域環境研究会、農山村環境研究会、ひの自然学校、日野川を愛する会、HI NOリバーサロン、ひまわり探偵団、ファームハウス・コムニタ・牧谷川の水を飲む会、「町おこし21」環境部会、松ヶ鼻頭首工、みやざき村有機の会、メダカ連絡会、八乙女頭首工、八ツ杉千年の森、漁師門丹生名人、孫谷川の語り部

-----

#### ○ 行政グループ

国土交通省近畿地方整備局、近畿地方整備局

福井河川国道事務所、近畿地方整備局足羽川ダム工事事務所、農林水産省北陸農政局日野川用水農業水利事業所、林野庁近畿中国森林管理署福井森林管理署、福井県土木部河川課、福井県南越農林総合事務所、福井県鯖江土木事務所、福井県武生土木事務所、福井県今立土木事務所、福井県朝日土木事務所、鯖江市、武生市、南条町、今庄町、今立町、日野川用水土地改良区、松ヶ鼻土地改良区



8月に日野川流域で開く、全国「川に学ぶ」体験活動北陸大会の実行委初会合  
8日夜、武生市の武生商工会館



## 河川全国大会 in 日野川流域

# 8月21、22日に決定

## 武生・今庄実行委が初会合

河川にかかわる全国のNPO法人、市民団体が一堂に会する「第四回全国「川に学ぶ」体験活動北陸大会 in 日野川流域」の実行委員会が発足し8日夜、武生市の武生商工会館で初会合を開いた。大会のメインは八月二十一、二十二の両日、今庄町から武生市にかけての日野川流域で開催することを決めた。

同大会は川の役割を考え直し、活動する人たちの連携を図っていこうと、二〇〇一年に全国約百

三十のNPOと市民団体で発足した「川に学ぶ体験活動協議会(RAC)」が推進。大会と実行委員会を結成して開催。昨年は徳島県の吉野川流域が会場で、全国から約三百五十人が参加した。今回は日本海側では初の開催。日野川に関係する団体でつくる「日野川流域交流会推進委員会」を母体に、川の専門家や行政、企業にも呼び掛け九十九人で実行委員会を結成した。会合では、大会のテーマを「川人の共感」と決

定。メインの八月二十一日には、トミヨの環境保全、明治の砂防施設群を生かした地域づくりなど四つの分科会に分かれ、日野川流域のフィールドを視察、今庄町のリトリートから報告し合う。夜は交流会に移る。二十二日は全国の実践団体による活動報告会やシンポジウムを行う。

また全国大会に先駆け、六月十二、十三、二十の三日間、川の初級指導者育成講座を実施。七月四日は、日野川流域交流会の参加団体によるフォーラムを開催し、大会を盛り上げていく。

同大会実行委員長の廣部英一・福井高専教授は「全国から川に関する団体が集い、現状、課題を整理提案することで今後の活動の方向性を見つけたい」と広く参加を呼び掛けている。



## 1. 会議と積極的活動

### 1.3 『子どもの水辺』登録申請

全国大会開催に先立ち、環境学習や体験活動の場として、水辺を積極的に活用してもらうために「子どもの水辺」へ登録した。

#### ■ トミヨの棲む治左川清流

○所在地: 福井県武生市上真柄町 (味真野地区)  
浅水川(日野川の支流)

##### ○構成団体

教育委員会 武生市教育委員会文化課  
河川管理者 武生市建設部土木課  
事務局 治左川とトミヨを守る会  
会長/石本義勝  
市民団体 日野川流域交流会(RAC会員)、  
環境文化研究所

##### ○活動内容

日野川流域交流会の「川の駅」として連携活動している住民団体、治左川と「トミヨを守る」会は、集落内の豊富な湧水からなる治左川の環境保全や環境教育活動を展開している。清流には梅花藻が群生し全国的に貴重な水棲生物のトミヨ(トゲウオ科)が生息している。

また、日常生活にも野菜洗い等に利用され地域の生活用水のシンボルになっている。今年度は、RACの全国大会分科会を担当し住民による発表とおもてなしを計画している。小中学校からの見学が多く、写真撮影にも全国から訪れる。近くに公民館があり休息や研修に使用できる。会長ほか住民語り部が案内し、解りやすく説明している。

#### ■ アカタン川人クラブ

○所在地: 福井県南条郡今庄町古木(宅良地区)  
田倉川(日野川の支流)

##### ○構成団体

教育委員会 今庄町教育委員会  
河川管理者 福井県武生土木事務所  
事務局 田倉川と暮らしの会  
会長/伊藤喜右エ門  
市民団体 日野川流域交流会(RAC会員)、  
水辺の自然体験活動推進事業  
実行委員会(RAC会員)

##### ○活動内容

日野川流域交流会の「川の駅」として連携活動している住民団体、「田倉川と暮らしの会」は、県内の小中学生、子ども会などの川に遊び学ぶ体験活動の指導や支援をしている。今年度は、RACの全国大会主会場で協力する。また福井県川の初級指導者養成講座の常設会場としと第1期が6月に開催される。川に学ぶ環境がよく、宿泊施設や研修室など設備が完備しているため、キャンプや合宿などで多くの子供達が利用している。

## ■ 南条エコリバークラブ

○所在地: 福井県南条郡南条町牧谷(南条地区)

日野川

-----

○構成団体

教育委員会 南条町教育委員会

河川管理者 福井県武生土木事務所

事務局 ひまわり探偵団(RAC会員)  
団長/石川君代

市民団体 日野川流域交流会(RAC会員)、  
水辺の自然体験活動推進事業  
実行委員会(RAC会員)

-----

○活動内容

ひまわり探偵団は、日野川流域交流会の「川の駅」として連携活動しているRAC会員の市民団体、地域の母親クラブや小学校の子ども会などの川に学び遊ぶ活動を企画実践している。水辺は南条町の河川公園に整備され、町民をはじめ、多くの家族が水辺に親しむところとなっている。また、各地の水辺体験活動団体がよく利用している。駐車場、トイレ、避難場所などが設備され、北陸自動車道南条パーキングエリアと接している。毎年夏には南条リバーフェスティバルが盛大に開催される。町民挙げてエコリバー活動に取り組んでいる。

## 2. プレイベント

### 2.1 『福井県川の初級指導者養成講座(第1期)』の開催



座学で川に学ぶ体験活動の  
理念などを学ぶ



野外で指導者としてのノウハウを学ぶ



カヌーに実践し、安全対策などを  
体験を通して学ぶ



Discover Hino River!



川と人との絆を築く - サクラマスの家伝 -  
日野川流域交流会

## 福井県川の指導者育成講座(第一期)

### 平成16年6月12日(土)、13日(日)、20日(日) 開催!

#### 川の指導者育成講座とは

自然の中で遊ぶには危険はつきもの。安全で楽しい活動を普及させるためには、川の危険性を正しく理解し伝えられるスキルを身につけた指導者が必要です。また、指導者による的確なリードにより川に学ぶ体験活動を普及させるため、川の指導者が必要とされています。

川の指導者育成講座は、川での活動を含め自然体験活動を推進していくこととする熱意ある方にお勧めの講座です。たくさんのご参加をお待ちしています。

#### ～ 開催要項 ～

スケジュール) 6月12日(土) ●参加者を知る ●川という自然の理解 ●川に学ぶ体験活動の理念 ●交流会  
6月13日(日) ●川と人、社会、文化の関わり ●安全対策について  
6月20日(日) ●川に学ぶ体験活動の指導法、基本技術 ●プログラム作りの基礎知識  
※ 開催内容は天候や会場、講師日程調整等の都合上、変更する場合があります。  
※ 交流会の参加費(2,000円)です。  
※ 宿泊される方は、別途ご紹介いたします。

講師) 日野川流域交流会の専門家(植物、魚類、鳥類、カヌー、歴史文化など)  
川に学ぶ体験活動協議会の講師(指導法、安全管理、プログラム作成など)

会場) リトリートたくら (今庄町古木 59-52 TEL0778-45-1310)

参加費) 10,000円 定員) 30名(先着順)

認定) この講座を修了した方は、RAC(川に学ぶ体験活動協議会)初級認定証を授与します。また、CONE(自然体験活動協議会)リーダーの登録が可能です。(年間登録料3,000円別途負担)

注意点) 3日間の講座全てに出席した者に限り認定いたします。やむを得ず講座を欠席される場合は、直ちに事務局へご連絡下さい。

お問合せ) 日野川流域交流会推進委員会事務局(担当 上木) まで 電話0778-23-2020  
ホームページ <http://www.hokuriku.ne.jp/takefu/hino/index.html>

主催/日野川流域交流会 連携/川に学ぶ体験活動協議会 共催/国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所、福井県土木部河川課

### 福井県川の初級指導者育成講座(第一期)参加申込書

お申し込みは FAX でお願います。>>> **FAX.0778-23-4234**

参加者名 \_\_\_\_\_ 所属団体・学校 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_ 性 別 \_\_\_\_\_ 年 齢 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ Eメール \_\_\_\_\_

交 流 会 参加する 参加しません 宿 泊 希望する (希望日 \_\_\_\_\_)

福井県の初級指導者育成講座(第1期) 実施プログラム

回数	開催日(予定)	時間	科目	種別	実施内容	講師(敬称略)	備考		
1	6月12日 (土)	9:00～9:30	オリエンテーション	0.5h	開催スケジュール、受講上の注意事項などの説明	-			
		9:30～10:30	川に学ぶ体験活動の理念	講義1h	川に学ぶ体験活動の理念、指導者の義務と責任	藤芳素生	河川環境管理財団		
		10:50～11:50	対象となる参加者のことを知る	講義1h	知ることの意義、把握すべき具体的項目と方法	長谷川孝一	ama水辺の自然文化研究所		
		13:00～14:00	対象となる参加者のことを知る	実習1h	知ることの意義、把握すべき具体的項目と方法	長谷川孝一	ama水辺の自然文化研究所		
		14:15～15:15	川という自然の理解	講義1h	川に関する基礎知識 川の見方 基礎編	斎藤寛昭	HRN専門家 河原植物		
		15:30～17:30	川という自然の理解	実習2h	危険箇所の見つけ方 活動場所の選定方法	大橋邦夫	ひの自然学校代表		
		18:00～20:00	交流会	2h	川に学ぶ体験活動の情報・意見交換交流会	-			
		9:00～11:00	川と人・社会・文化の関わり	実習2h	日野川流域における現状と課題と方向性	上木泰男	HRN専門家 日本野鳥の会 野鳥・哺乳類・釣り		
		11:00～12:00	プログラム作りの基礎知識	講義1h	各段階の項目とポイント	長谷川孝一	ama水辺の自然文化研究所		
		13:00～14:00	川に学ぶ体験活動の指導法	講義1h	体験活動に利用できる指導テーマとポイント	長谷川孝一	ama水辺の自然文化研究所		
2	6月13日 (日)	14:15～17:15	川に学ぶ体験活動の指導法	実習3h	魚類の捕獲と生息空間、生態系の仕組み	長谷川蔵	HRN代表幹事 福井陸水生物研究会 両生類・魚類		
		9:00～10:00	川に学ぶ体験活動の基礎技術	講義1h	川を観察するツールとしてカヌーの活用方法	前田博司	HRN専門家 福井県カヌー協会副理事長		
		10:00～12:00	川に学ぶ体験活動の基礎技術	実習2h	カヌー操作の基礎技術、セルフレスキュー	前田博司	HRN専門家 福井県カヌー協会副理事長		
		13:00～14:00	安全対策について	講義1h	安全対策と管理、事故例と保険加入、3つの責任	藤原尚雄	『カヌーライフ』編集長		
		14:00～17:00	安全対策について	実習3h	危険予知のトレーニング、応急処置の体験	藤原尚雄	『カヌーライフ』編集長		
		17:15～18:15	川と人・社会・文化の関わり	講義1h	川と流域の人々の関わりについての基礎知識	渡邊光一	HRN代表幹事 河川文化・歴史・民俗		
		18:30	終了式						
		3	6月20日 (日)						

会費:1名10,000円 募集人数:30名 会場:リトリートくらおよび田舎川

※HRN:日野川流域交流会

■ 講師名

- 日野川流域交流会専門家講師  
斎藤寛昭氏、大橋邦夫氏、上木泰男氏、  
長谷川巖氏、前田博司氏、渡邊光一氏  
(6名)
- RAC講師  
藤芳素生氏、長谷川孝一氏、藤原尚雄氏  
(3名)

高嶋了一、宮永和幸、田安正茂、  
野村みゆき、山本 優、荘司周夫、  
萩原茂男、土井伊久男、松山幸広、  
辻極日出生、達川直樹、田中 繁、  
伊藤喜右エ門、沖田ちづる、長谷川淳一、  
越野幸美、大関瑞貴、山本浩人、  
堀田尚宏、田辺一彦、喜村商洋、  
田中保士、田中謙次、石川君代、  
上木善憲

■ 受講者名

山本佳奈子、福嶋徳美、廣部英一、

(内訳:福井県25名、大阪府1名、  
三重県1名、東京都1名)

■ 中日新聞報道記事(6月13日撮影記事)

活動や危険箇所の  
選定方法など学ぶ  
今庄で川の指導者  
育成講座が開講  
川の指導者育成講座が  
十二日、今庄町古木のり  
トリートメントなどで開  
講した。県内外の三十一  
人が参加し、川に接する  
ために必要な基礎知識な  
どを学んだ。  
市民グループや行政機  
関、専門家らでつくる日  
野川流域交流会などが八  
月二十一、二十二日に開  
く「川に学ぶ体験活動全  
国大会in日野川流域」  
のプレイベントとして企  
画した。

参加者たちは、川での  
活動の理念や指導者とし  
ての義務、基礎知識など  
について専門家三人の講  
義を受けた。その後、近  
くの川へ移動。武生市の  
「ひの自然学校」代表の  
大橋邦夫さんの指導で



川岸で大橋さんの説明を聞く参加者たち＝今庄町で

実際に川に入り、危険箇  
所や活動場所の選定方  
法を学び、どんな遊び  
ができるかなどを考え  
る。

講座は十三日と二十日  
にもあり、川の生態系や  
カヌーの安全対策、川の  
文化などについて学習す  
る。



SAMPLE

「川に学ぶ」体験活動リーダー 育成講座

# 修了証

田中謙次 殿

あなたは「川に学ぶ」体験活動リーダー育成講座の  
課程を履修したことを証します

講習会名 福井県川の初級指導者育成講座（第一期）

講習期日 平成16年6月12、13、20日

講習会場 リトリートたくら

講師名 長谷川孝一 , 藤芳素生  
上木辰男 , 長谷川巖  
斎藤寛昭 , 火橋邦夫  
坂邊光一 , 前田博司  
藤原尚雄 ,

平成16年6月20日



サクラマスの願伝  
日野川流域交差点

推進委員長

田中保士

## 2. プレイベント

### 2.2 『川と人とのいい関係-サクラマスの駅伝- in日野川2004フォーラム』の開催

■ 2004年7月4日 13:30～15:30 武生商工会議所

主催:日野川流域交流会、川に学ぶ活動全国大会in日野川流域実行委員会

後援:武生商工会議所建設業部会、福井県、国土交通省近畿地方整備局

#### ■ プログラム

13:30 開会

日野川流域交流会推進委員長／田中保士

13:35 「サクラマスの駅伝」活動報告

日野川流域交流会推進委員会事務局／品川 勉

13:50 川の駅活動報告と意見交換

①「住民と産学官でのユスリカ退治奮闘記」

御清水川を愛する会 代表／前田照美

②「鞍谷川の現状と課題を考える」

鞍谷川ワークショップ 代表／木津勇二

③「現状の河川環境の中で生き物と共生する方法」

河和田自然に親しむ会 代表／谷口真栄

オープニングVTR 全国大会へのプロムナード

15:00 みんなで盛り上がりよう！

全国大会「川人の共感」のおもてなし

① 全国大会の意気込み

本大会開催まで、もう間もなくです。

ここで、本大会の実行委員長の廣部より熱

いメッセージをお届けします！

実行委員長／廣部英一

② ファシリテーターのビデオ映像紹介

大会を盛り上げる4名のファシリテーターをご紹介します。今回のファシリテーターは、みなさんの分科会の活動のより良い進行と理解を深めるためのサポートの役割をお願いします。なお、このファシリテーターの方々は、2日目のパネルディスカッションにおいて

パネラーにもなっていたと予定ですが、

★高津琴博氏(たかつ・ことひろ) (福井県大野市)

「NPO法人田んぼの学校」越前大野学校長

※当日出席し紹介した。

★北川健司氏(きたがわ・けんじ) (岐阜県岐阜市)

「NPO法人広域防災水難救助捜索支援機構」副理事長

「川に学ぶ」体験活動全国大会が、私の住む岐阜のおとなり、福井県で開催される事を喜んでます。

会場で知り合いになって、是非岐阜にも遊びに来ていただきたいとおもっています。

(岐阜のいいところ紹介しますよ)

日野川には多くの活動団体が集い、活発な活動がされています。地元のみなさんとの交流や情報交換を楽しみにしています。

★千葉よう子氏(ちば・よこ) (北海道帯広市)

「帯広NPO28サポートセンター」理事長

「子供にとって川は生きた教材。自然環境を知ることはその土地の文化・生活を知ることになる。川の専門家ができれば、必ず教育にもプラスになる」と訴える。

★平野憲司氏(ひらの・けんじ) (大分県南海部郡)

「NPO法人広域防災水難救助捜索支援機構」



私たちは、川での事故防止の啓蒙活動や災害時や事故の捜索活動を行なう、NPOとして活動しています。

#### ■全体プログラムへのご案内

実行委員会企画・運営部／田中謙次、上木正行

- ③ A分科会へのご案内／渡邊光一
- ④ B分科会へのご案内／伊藤喜右ヱ門
- ⑤ C分科会へのご案内／石川君代
- ⑥ D分科会へのご案内／谷口義幸
- ⑦ 予算の審議 廣部実行委員長
- ⑧ 決起「がんばろぞ！エール三唱」

「川の駅」のみなさん！たのしく、  
真心を込めて全国の「川人」と  
体験を通して共感し心に  
残るおもてなしをいたしましょう！  
8月21日22日の大会本番で  
お会いしましょう！

15:30 閉会

#### □フォーラム・テーマ

『川の駅のおもてなし「川人の共感」』

全国の私たちと同じ理想で活動している「川人(かわど)」たちが日野川流域にやってくる。「川の駅」が、日頃主体的に取り組んでいる「川に学ぶ体験活動」に参加し、共に体験する。この友好的交流体験から、課題を掘り起こすとともに共有化をはかり、真に「川に学ぶ社会」の実現をめざす方向性を見つけたい。

#### □推進委員会主催要旨

川と人とのいい関係「サクラマスの駅伝」フォーラム in 日野川も早4回目を迎え、地道な活動成果が確実に表れている。これは、川の駅活動団体の方々、専門家の皆様、そし

て行政のパートナーシップのいい関係が緩やかに実ってきた成果だと信じている。昨年度の3活動の成果を報告する。

1. 新しい川の駅が今立町鞍谷川で誕生した。
  2. 日野川河道内の樹林を伐採するための住民と行政と自然保護団体との合意形成に役立つ活動行った。
  3. サクラマスやアユが遡上できる2カ所目の魚道の改修工事が行われた。
- そして今年度に入り3活動成果を報告する。

1. 文部科学省と国土交通省及び環境省の「子どもの水辺推進会議」プロジェクト「子どもの水辺サポートセンター」に、3つの「子どもの水辺」を登録しました。
- ①今庄町田倉川に「アカタン川人クラブ」
- ②南条町日野川に「南条エコリバークラブ」
- ③武生市浅水川に「トミヨの棲む治左川清流」です。

それぞれの水辺には、教育委員会と河川管理行政そして市民団体が構成員となって、水辺に子どもたちの賑わいを実践していくこととなった。

2. 川の駅「田倉川と暮らしの会」が活動している「アカタン砂防フィールドミュージアム」の歴史的砂防施設9基が登録有形文化財に登録された。
3. 福井県で初めての「川の初級指導者養成講座(第1期)」を開催した。県外からも含めて28名の川に学ぶリーダーが誕生した。

以上のような活動が全国の川人に伝わって、いよいよ、川に学ぶ活動全国大会開催へと向かことになった。

「サクラマスの駅伝」は勢いついてきた感がある。私たちはさらに流域間の活動交流を深め、全国の川人たちとも連携しながら、体験や

